

平安朝文学研究会 2018年度 第1回研究発表会

日 時 2018年9月29日(土) 14:30~16:45

会 場 早稲田大学 戸山キャンパス(文学学術院) 33号館6階 第11会議室

*スロープを上った位置から見て真正面の建物内です。エレベーターは右手の高層棟内にあります。

○ 研究発表

小野寺拓也 (早稲田大学大学院文学研究科 博士後期課程)

『うつほ物語』の帝・東宮と男君たち —「はらからの契り」を端緒として—

『うつほ物語』では、男君同士の間で「はらからの契り」という他の物語作品に見られない「契り」が結ばれる。本発表では、その「契り」が東宮の勧めにより結ばれている点を端緒として、男君たちを結びつけようとする帝や東宮の言動が何を目指しているのかということ考察する。

牛山 睦子 (早稲田大学大学院文学研究科 博士後期課程)

『高光集』の時空 —冷泉家時雨亭文庫蔵唐草装飾本を読む—

三十六歌仙の一人である藤原高光の家集『高光集』を取り上げ、諸本の中から、「冷泉家時雨亭文庫蔵唐草装飾本」を読解することで、同本が描き出そうとした高光の人生の軌跡を辿り、その意図について考察を行いたい。

※どなたでも参加できます(無料)。ご来聴を歓迎いたします。

※当日は、同会場で13:45より委員会を、16:55より総会をそれぞれ予定しております。また、総会のあと、17:45より懇親会を開く予定です(於 かわうち)。

お問い合わせ先 平安朝文学研究会 事務局 (早稲田大学文学学術院 陣野英則研究室内)

TEL: 03-5286-3705(直通), E-mail: jinno@waseda.jp